

# 平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	福祉保健部
部(局)長名	平野 孝子

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 7	医療保障を支える基盤としての 国民健康保険事業の安定運営
--------	---------------------------------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向	市民のいのちと健康を守るため、国民皆保険制度を支える国民健康保険事業について、持続可能な制度としての安定的な運営を図ります。
---------	--

活動目標
赤字解消計画に基づき収納率の向上及び医療費の適正化に取り組むことにより単年度収支の均衡化を図ります。
医療費データ及び健診データの分析を行い、本市に必要な検診事業の組み立てを検討します。

具体的な取組実績
赤字解消計画に基づく収納率の向上については、年度ごとの目標収納率には及ばないものの、平成27年度は平成26年度と比して2月末時点で0.41ポイント上回っています。ジェネリック医薬品差額通知やレセプト全件点検といった医療費適正化に継続的に取り組まましたが、見込みを超えた医療費の伸び等により今年度での単年度収支均衡化は図れない状況です。
大阪府国民健康保険団体連合会の支援を受けて、データヘルス計画を策定し、その中でレセプトデータ及び健診データを基に本市の被保険者の現状分析を行った結果、非肥満であっても血圧高値者や血糖高値者が多く見受けられることが判明しました。



達成目標
単年度収支の均衡化を図るとともに、累積赤字について計画的に減少を図ります。
被保険者の健康の保持を図り、医療費の適正化を目指すためデータヘルス計画を策定します。

達成状況	達成度
平成27年度では単年度収支均衡化が図れないものの、平成28年度までに達成すること及び平成33年度までに累積赤字の解消を図ることを目標にしている赤字解消計画の範囲内で計画どおりの進捗に努めていきます。	B 一部達成
データヘルス計画を平成28年3月に策定し、ホームページに掲載しました。次年度以降、本市の現状分析で判明した結果に基づき、本市の被保険者の健康の保持を図るために必要な保健事業を展開していきます。	A 達成

## 総合評価・総括

平成24年度決算時に約39億7千万円ありました累積赤字において、保険料の対応及び一般会計繰入並びに現年度収納率向上等により平成28年度までに単年度収支均衡化を図るよう計画どおり進捗しています。

累積赤字解消の計画においても、一般会計繰入金及び滞納繰越収納率の向上等により当初平成33年度までに達成する年次計画どおりの赤字解消が図られています。今後とも継続的に単年度収支の均衡化を図りつつ、累積赤字の解消に努めていきます。

レセプトデータや健診データからの分析に基づき、今年度にデータヘルス計画を策定しました。計画の中で行った現状分析を基に、本市の被保険者の健康状態に即した保健事業を次年度以降実施します。